第４回飛騨市公共施設在り方検討部会

日　時：令和８年９月２９日（火）16:00～
場　所：飛騨市役所西庁舎３階小・中会議室

次　第

１．開会

２．部会長挨拶

３．説明事項
①飛騨市コンベンション事業における人工芝グラウンド利用状況について　資料 No１
②飛騨市における宿泊施設数の推移について　資料 No２
③２０施設の市民利用割合（再掲）　資料 No３
④令和７年度検討２０施設の運営状況について（再掲）　資料 No４

４．協議事項
①優先順位の考え方について（人工芝グラウンド）　資料 No５
②人工芝グラウンドの位置づけについて　資料 No６

③優先順位の考え方について（スキー場）　資料 No７
④スキー場の位置づけについて　資料 No８

⑤自由討議

⑥人工芝グラウンド・スキー場の方向性について　資料 No９

５．今後のスケジュールについて　資料 No１０

６．閉会

令和７年度飛騨市スポーツコンベンション事業グラウンド利用状況

資料No１

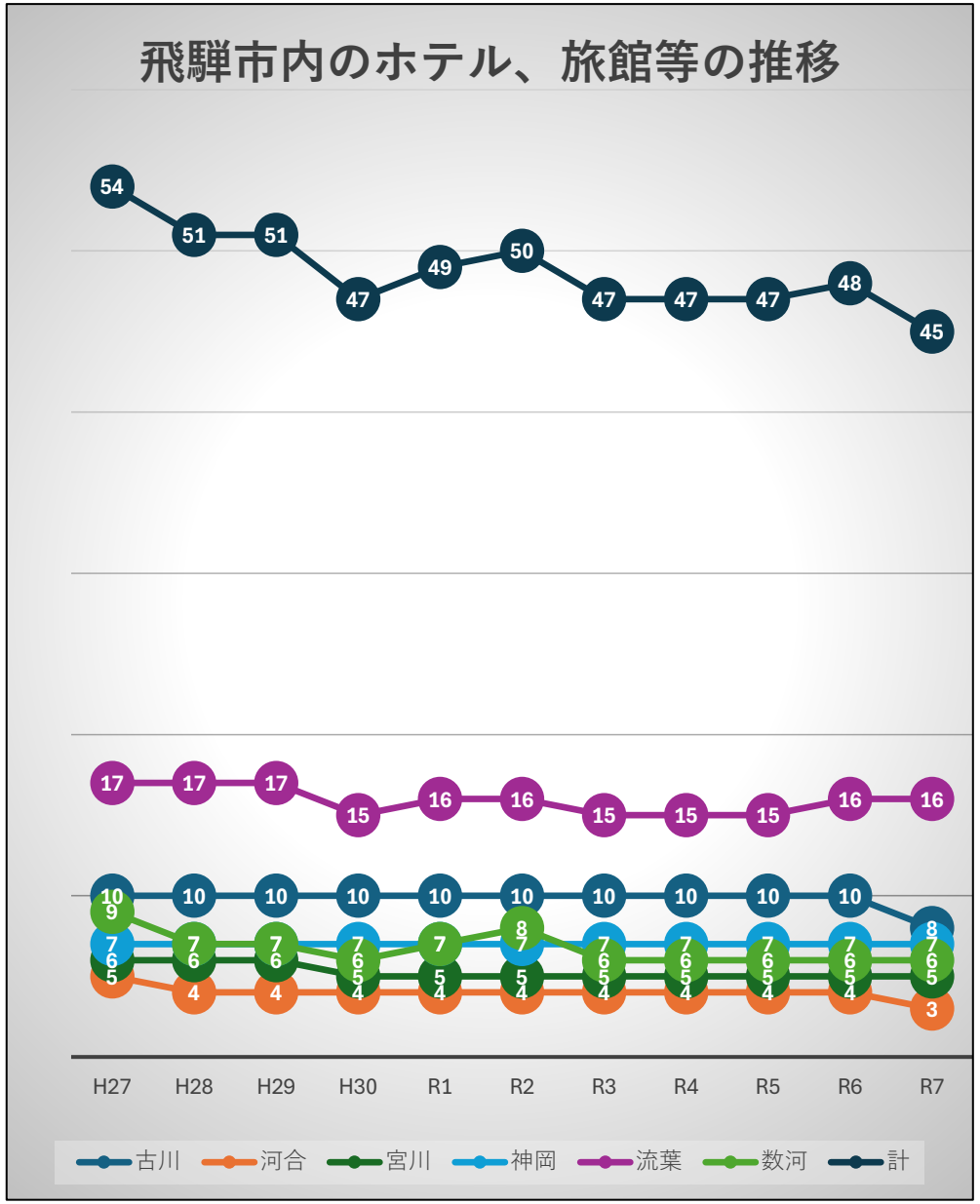
申請者情報		競技種目	種　別		使用グラウンド							実績
No.	大会名（合宿名）		大会	合宿	ふれあい広場	杉崎グラウンド	流葉交流広場	ひだ数河高原グランド	古川ラグビー場	平成グランド	野球場（複数）	延べ宿泊数
1	飛騨古川大会GW2025	サッカー	○		○		○					952
	飛騨古川Soccer Summer Festival		○		○		○					1,630
	飛騨古川秋大会			○	○		○					43
2	2025年春　流葉交流戦　U-10　U-12		○				○					137
3	菊華高等学校サッカー部　夏合宿			○					○			134
4	第3回　激旨！飛騨こしひかり満腹サッカー交流会（U-14）		○		○							322
5	枚方なぎさ・門真なみはや・緑風冠　3校合同合宿			○					○			120
6	愛知県立旭野高等学校サッカー部　夏合宿			○					○			54
7	飛騨古川招待U-13　2025		○		○							202
8	愛知県立名古屋西高等学校サッカー部　飛騨合宿2025夏			○	○							64
	飛騨市長杯ユースサッカーフェスティバル2025		○		○	○	○					2,376
9	桜塚シリウスFC　夏季合宿			○					○			152
10	2025 COPIN CUP in 飛騨古川		○		○		○					1,068
11	2025年秋　流葉交流戦　U-12　U-10		○				○					166
12	JYC大会		○		○							181
13	2025年度　愛知県高校ラグビー数河合宿	ラグビー		○						○		543
14	関西ラグビーフットボール大会		○					○	○			2,022
15	令和７年度岐阜ラグビースクール夏合宿			○				○	○			98
16	京都工芸繊維大学　アメリカンフットボール部合宿	アメフト		○					○			200
17	名古屋工業大学アメリカンフットボール部（夏合宿）			○						○		332
			10	10	9	1	7	2	7	2	1	10,796

飛騨市内宿泊施設数の推移

※飛騨市観光統計データより
（一部の民泊、キャンプ場等は含まず）

資料No２

年	古川	河合	宮川	神岡	流葉	数河	計
H27	10	5	6	7	17	9	54
H28	10	4	6	7	17	7	51
H29	10	4	6	7	17	7	51
H30	10	4	5	7	15	6	47
R1	10	4	5	7	16	7	49
R2	10	4	5	7	16	8	50
R3	10	4	5	7	15	6	47
R4	10	4	5	7	15	6	47
R5	10	4	5	7	15	6	47
R6	10	4	5	7	16	6	48
R7	8	3	5	7	16	6	45
総収容可能人数	267	90	171	78	708	266	1,580
うち20名以上収容施設数	4	3	4	1	14	6	32



【課題】 ①市街地に団体収容できる宿泊施設が少ない。
②宿泊事業者の高齢化、承継者・人手不足等により団体受入れが困難になりつつある。

★検討２０施設利用者の傾向（令和７年度実績より）　　※再掲　　資料No３

種別	施設名		利用者数 R7年度	利用者数 R6年度	利用者数 前年度比増減	利用者割合 市民	利用者割合 市民以外	備考
温浴	①ぬく森の湯すぱーふる	温浴	40,091	39,527	564	70%	30%	
		食堂	1,783	2,115	▲ 332	70%	30%	
	②ゆぅわ～くはうす	温浴	20,265	20,808	▲ 543	80%	20%	
		食堂	13,220	13,204	16	90%	10%	
	③流葉温泉Mプラザ	温浴	46,755	47,134	▲ 379	47%	53%	
		食堂	15,714	18,794	▲ 3,080	40%	60%	
	④おんり～湯	温浴	11,454	11,890	▲ 436	60%	40%	
	（カフェテリア白木ヶ峰）	食堂	4,413	4,563	▲ 150	40%	60%	昼食のみ。宿泊夕食・宴会を含んでいない。
	⑤割石温泉		48,930	51,254	▲ 2,324	92%	8%	
宿泊	⑥まんがサミットハウス	宿泊/図書	1,562	1,506	56	5%	95%	
		日帰/図書	1,347	1,557	▲ 210	10%	90%	
	⑦ホテル季古里		4,619	4,815	▲ 196	5%	95%	
	⑧なかんじょ川	キャンプ場	640	1,008	▲ 368	10%	90%	
		釣り公園	2,945	3,218	▲ 273	20%	80%	
	⑨アスク山王		401	449	▲ 48	5%	95%	
	⑩やまびこ館		3,116	3,413	▲ 297	30%	70%	
	⑪板倉の宿種蔵		909	1,042	▲ 133	5%	95%	
	⑫ナチュールみやがわ		692	1,000	▲ 308	10%	90%	
	⑬流葉オートキャンプ場		4,843	5,925	▲ 1,082	2%	98%	
	⑭山之村キャンプ場	キャンプ場	1,112	514	598	5%	95%	
		食堂	785	348	437	40%	60%	
スキー	⑮飛騨かわいスキー場		9,996	16,415	▲ 6,419	85%	15%	
	⑯ひだ流葉スキー場		32,632	44,102	▲ 11,470	20%	80%	
人工芝	⑰ふれあい広場　※１		19,049	16,012	3,037	10%	90%	
	（人工芝グラウンドのみ）		9,369	8,679	690			※グラウンド４面の使用時間で利用者を按分。
	⑱古川ラグビー場　※１		9,830	5,600	4,230	0%	100%	
	（人工芝グラウンドのみ）		3,277	1,867	1,410			※主利用グラウンド３面で利用者を按分
	⑲流葉交流広場　※１		8,750	11,520	▲ 2,770	5%	95%	
	（人工芝グラウンドのみ）		8,150	10,840	▲ 2,690			※古畑G,休養村G利用者含まず。
	⑳杉崎公園グラウンド		13,661	17,885	▲ 4,224	62%	38%	

※１　利用者数はグラウンド全体の利用者数

【第２回部会資料の再掲】
※ふれあい広場、古川ラグビー場、流葉交流広場は、人工芝グラウンド単体の利用者数を追加。

令和７年度　検討２０施設の運営状況（再掲）

資料No４

（単位：円）

No.	施設名	利用者数	収入	指定管理料	利用料金※３	純売上高	その他	支出	売上原価	人件費	管理費	光熱水費	設備保全費	修繕費	その他	運営費	その他	指定管理者制度における収支	指定管理料を差し引いた実質収支	市が直接実施した施設維持修繕、改修費等	市負担額（指定管理料+市負担修繕費等）	利用者一人当たり市負担額
1	飛騨古川桃源郷温泉すぱーふる	41,874	41,537,559	21,300,000	18,037,320	1,950,094	250,145	40,100,161	871,141	13,271,458	20,748,104	13,963,118	3,829,000	771,302	2,184,684	3,468,484	1,740,974	1,437,398	▲ 19,862,602	2,873,456	24,173,456	577
2	健康増進施設ゆぅわ～くはうす	33,485	40,511,269	21,335,227	7,161,370	11,964,328	50,344	41,084,744	6,204,571	13,690,476	16,357,880	12,518,705	2,223,441	472,403	1,143,331	3,137,425	1,694,392	▲ 573,475	▲ 21,908,702	982,300	22,317,527	666
3	流葉温泉Mプラザ	62,469	73,813,902	29,000,000	20,838,740	23,029,681	945,481	77,744,643	9,796,633	31,549,907	30,283,707	24,663,516	2,891,724	345,455	2,383,012	1,900,807	4,213,589	▲ 3,930,741	▲ 32,930,741	6,144,072	35,144,072	563
4	宮川温泉おんり～湯他　※1	18,776	79,759,369	39,447,864	15,653,964	20,730,721	3,926,820	91,769,740	10,088,861	23,804,126	33,597,342	22,756,207	4,713,819	1,113,520	5,013,796	11,117,113	3,187,063	▲ 2,035,136	▲ 41,483,000	19,134,820	58,582,684	3,120
5	割石温泉（直営施設）	48,930	12,399,000	—	12,399,000	—	—	44,103,576	—	—	19,122,576	10,776,867	4,327,203	3,481,682	536,824	24,981,000	—	—	▲ 31,704,576	—	31,704,576	648
7	ホテル季古里	4,619	78,998,785	0	50,809,000	27,417,589	772,196	78,497,289	11,024,174	30,551,647	24,522,164	15,022,430	1,985,940	60,500	7,453,294	11,537,267	862,037	501,496	501,496	4,414,655	4,414,655	956
8	なかんじょ川施設	3,585	8,497,938	1,400,000	3,317,670	3,750,948	29,320	11,136,860	1,027,381	4,870,257	3,298,194	918,685	1,315,227	422,400	641,882	1,604,168	336,860	▲ 2,638,922	▲ 4,038,922	2,797,800	4,197,800	1,171
9	アスク山王	401	2,525,300	650,000	1,875,300	0	0	2,142,040	0	527,688	1,110,127	777,565	25,300	97,900	209,362	348,549	155,676	383,260	▲ 266,740	415,050	1,065,050	2,656
10	やまびこ館	3,116	26,567,880	2,678,000	8,262,280	15,625,380	2,220	26,777,502	6,533,235	9,453,990	5,464,770	2,918,508	389,675	264,829	1,891,758	4,058,812	1,266,695	▲ 209,622	▲ 2,887,622	1,750,100	4,428,100	1,421
11	飛騨市種蔵山里の暮らし体験施設	909	13,110,040	4,200,000	5,918,910	2,562,500	428,630	12,975,996	954,383	6,419,510	3,023,087	1,591,394	137,500	393,150	901,043	1,690,316	888,700	134,044	▲ 4,065,956	0	4,200,000	4,620
12	ふるさと山荘ナチュールみやがわ	692	4,527,769	0	4,270,800	195,451	61,518	6,521,187	44,350	3,465,684	1,678,394	958,358	0	140,180	579,856	961,438	371,321	▲ 1,993,418	▲ 1,993,418	825,000	825,000	1,192
13	流葉オートキャンプ場、コテージ	4,843	21,031,010	1,000,000	19,150,776	788,610	91,624	20,071,221	25,033	10,469,481	5,255,859	2,348,304	197,070	285,780	2,424,705	3,241,531	1,079,317	959,789	▲ 40,211	1,378,590	2,378,590	491
14	山之村キャンプ場	1,897	7,565,258	2,090,000	4,058,470	1,416,788	0	9,091,968	394,343	4,772,913	2,763,259	1,625,754	170,346	127,561	839,598	1,107,879	53,574	▲ 1,526,710	▲ 3,616,710	88,000	2,178,000	1,148
15	飛騨かわいスキー場	9,996	42,238,670	10,754,000	16,410,300	10,162,790	4,911,580	41,684,099	2,781,157	17,320,053	14,760,990	6,467,273	1,631,156	2,534,316	4,128,245	5,099,919	1,721,980	554,571	▲ 10,199,429	8,554,890	19,308,890	1,932
16	ひだ流葉スキー場	32,632	111,177,532	5,000,000	93,312,532	10,307,300	2,557,700	110,355,404	520,481	59,877,197	32,980,865	16,835,922	1,366,888	178,211	14,599,844	11,057,841	5,919,020	822,128	▲ 4,177,872	52,688,400	57,688,400	1,768
17	古川ふれあい広場施設　※2	19,049	26,449,998	21,310,000	4,845,596	294,402	0	21,692,131	0	7,553,714	10,591,588	1,370,834	130,012	343,864	8,746,878	2,167,630	1,379,199	4,757,867	▲ 16,552,133	0	21,310,000	1,119
18	数河グラウンド5施設　※2	9,830	4,434,037	3,307,000	1,126,180	0	857	4,435,464	0	0	4,271,037	797,496	1,931,852	344,255	1,197,434	92,300	72,127	▲ 1,427	▲ 3,308,427	2,157,100	5,464,100	556
19	流葉交流広場ほか　※2	8,750	1,891,391	975,606	915,200	0	585	1,936,482	0	774,600	1,029,679	215,731	0	258,957	554,991	132,203	0	▲ 45,091	▲ 1,020,697	198,000	1,173,606	134
20	杉崎公園グラウンド（直営施設）	13,661	874,290	—	874,290	—	—	1,730,899	—	—	1,730,899	730,669			1,000,230	—	—	—	▲ 856,609	—	856,609	63
計		319,514	597,910,997	164,447,697	289,237,698	130,196,582	14,029,020	643,851,406	50,265,743	238,372,701	232,590,521	137,257,336	27,266,153	11,636,265	56,430,767	87,704,682	24,942,524	▲ 3,403,989	▲ 200,412,871	104,402,233	301,411,115	943

※１　宮川温泉おんりー湯他については、指定管理者の変更に伴い、固定資産除却損・償却不足などの特別損失９，９７５千円あまりを差引して収支計上。
運営収支には、カフェテリア白木峰、まんがサミットハウスを含む。

※２　利用者数は全てのグラウンド利用者数。市が直接負担した修繕費等は、人工芝グラウンドのみを対象。

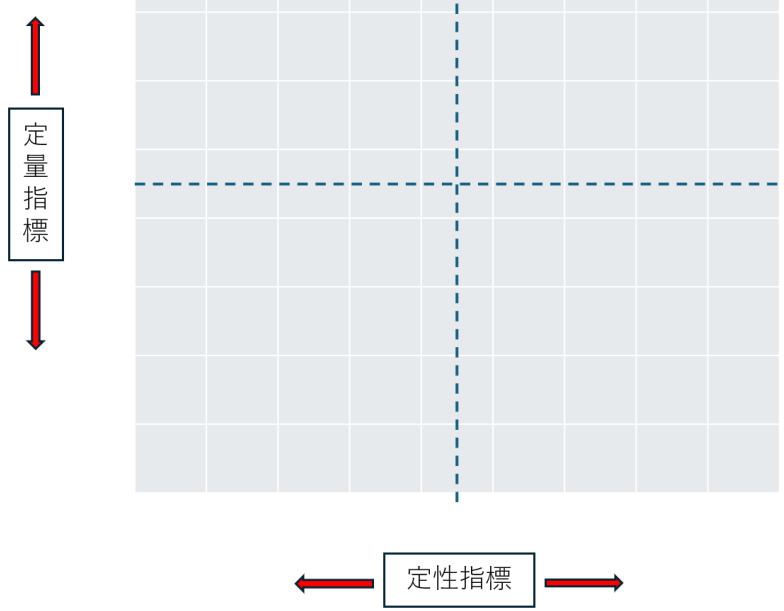
※３　温浴施設の利用料金には、「いきいき券」利用相当分を含む。

検討施設の優先順位の考え方（人工芝グラウンド）

共通事項：公の施設の定義（地方自治法）である
「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供される施設」であるか

１．定量指標
　①市負担額（人工芝更新整備費）の優位性
　②利用者数
　③グラウンド稼働日数（利用頻度）
２．定性指標
　①市民生活における必需度
　②地域経済への影響
　③その他

優先順位配置図



★定性指標における検討のポイント（人工芝グラウンド）

No.	施設名	検討の個別ポイント	施設廃止した場合の影響	共通ポイント
1	ふれあい広場 【施設全体概要】 ・H22整備・16年経過 ・天然芝3面人工芝１面 【R7人工芝稼働日数】 ７７日	・比較的規模の大きなサッカー大会や合宿において利用されており、市内宿泊施設への配宿がある。 ・天然芝グラウンドの価値が高いが、芝の生育・養生期間中は人工芝グラウンドの利用となる。 ・過去には国体、インターハイ、ねんりんピックなどの全国規模のサッカー大会メイン会場となったほか、Ｊ１リーグキャンプ地として利用された経緯あり。 ・市内４つの人工芝グラウンドの中では比較的程度はよい。唯一、下地にアスファルト舗装を施工している。	・天然芝が利用出来ない期間に同会場で代替できるグラウンドがなくなること、天然芝より安価に利用できること、雨天時に大きな影響を受けないことなどから利用者数や収益に影響がでる。 ・参加チーム数が比較的多い大会などで、1会場での大会開催が困難になる。	・いずれの人工芝も専門業者の調査においてはJFA（日本サッカー協会）の人工芝基準を満たしていないとの診断を受けており、現状ではプロや全国規模の公式大会での利用は不可。※現在はJFA公認制度は廃止。大会主催組織毎のグラウンド規定による。 ・サッカー大会などのスポーツコンベンション事業において、市内宿泊施設と密接に関わる施設となっている一方で、市内宿泊施設の受入れ能力（高齢化、人手不足）に課題がある。 ・Ｒ７年度開催されたねんりんピックサッカー交流大会（1,200人規模）ではすべての人工芝グラウンドを使用。 ・いずれのグラウンドも老朽化により、試合におけるプレーヤーの安全性が十分に確保されていない。 ・人工芝の法定耐用年数は10年とされているが、積雪期は利用できないため、比較的長く利用できている。 ・市内のスポーツ競技人口が最も多いのはサッカーとなっている。 ・人工芝の全面更新には3億前後の総事業費が見込まれている。 ・公式大会などでの利用には限界が来ているグラウンドもあるが、市民利用や合宿利用などにおいては即時利用が出来ない状態ではない。 ・杉崎グラウンド以外は観光施設として位置付けられており、「飛騨市観光基本戦略（R3．３月）」においては、「地域資源を活かした観光振興」の基本施策としてスポーツフィールドを活用した誘客の推進を行っている。 ・近年の猛暑の影響もあり、山間部での合宿、大会需要が高まっている傾向がある。
2	古川ラグビー場 【施設全体概要】 ・H17整備・21年経過 ・天然芝2面人工芝１面 土グラウンド2面 【R7人工芝稼働日数】 ２８日	・試合は主に天然芝２面、人工芝１面で行われている。 ・合併以前からラグビー競技が盛んに行われ、同地域の宿泊施設も利用されてきたが、２８年間続いた関西学生ラグビー大会（延べ2,000人規模の宿泊あり）は令和９年度より郡上市での開催となる。（地元数河地区関係団体からの申し入れによる。） ・数河地区宿泊施設への大規模な宿泊受入れが困難になっている。 ・近年サッカー、アメフト合宿においても多く利用されている。 ・人工芝グラウンドは老朽化により衝撃吸収性が低く、ラグビーでの利用は不向き。関西学生ラグビー大会関係者からもピッチが固く脳震盪の危険があるとの意見在り。 ・「飛騨市スポーツ施設整備計画（R8.3改定）」の改修整備に関する計画では優先度が低い。	・大規模な大会開催（関西学生ラグビー大会）がなくなったこと、天然芝が２面あること、地元宿泊施設のキャパシティの問題などから大きな影響はないと考えられるが、市内の他グラウンドが利用不可となった場合、代替利用ができなくなる。 ・ラグビーのほか、サッカーやアメフト合宿などでのコンベンション需要もあるため、地元の宿泊事業に影響が出る。	
3	流葉交流広場 【施設全体概要】 ・H21整備・17年経過 ・人工芝１面 【R7人工芝稼働日数】 ６３日	・市内で行われる規模の大きなサッカー大会では、ふれあい広場などと共に利用されている。 ・サッカーの大会や合宿時においては、流葉地域の宿泊施設が多く利用されている。 ・冬季のスキー宿泊客よりグラウンド利用での宿泊客が多い。 ・もともとクレーグラウンドであったが、そこに防水シートのみ施工して整備されたため安価だが不陸（凸凹）が多数点在している。張替え時には新たな路盤整備や不陸整正に多額の費用を要する見込み。 ・「飛騨市スポーツ施設整備計画（R8.3改定）」の改修整備に関する計画では優先度が高い。	・流葉交流広場単体で通年開催されているサッカー大会（春・秋）が開催できなくなる。 ・規模の大きなサッカー大会においてはふれあい広場会場と併用されており、大会の規模縮小（参加チーム数の減）が必要となる。 ・サッカー会場自体がなくなるため、流葉地域の民間宿泊施設に大きな影響が出る。	
4	杉崎公園グラウンド 【施設全体概要】 ・H24整備・14年経過 ・人工芝１面 【R7人工芝稼働日数】 ２２６日	・人工芝グラウンドの中で唯一スポーツ施設として位置づけされており、市民利用が6割以上。市内スポ少、地域クラブ、高校のほか地元社会人チームの利用がある。 ・市内サッカーグラウンドの中で唯一ナイター照明を有するが、LED化はされていない。 ・夜間も利用できることから利用頻度が高く、経過年数に比して人工芝自体の劣化が最も顕著になっている。 ・他のグラウンドと比べて立地面（駐車場やコンビニエンスストア）で利便性がよい。 ・高山市第八グラウンド（令和7年から本格的に供用開始）完成に伴い、利用収入、利用者数（一般利用）が大幅減となっている。 ・R8年度のコンベンション対象サッカー大会において、芝のコンディション改善について主催者から要望あり。 ・「飛騨市スポーツ施設整備計画（R8.3改定）」における改修整備に関する計画では優先度が高い。 ・市直営（スポーツ振興課）。※R9より指定管理施設へ移行予定。	・市民利用、特に子どもたちの利用にあたっては、立地的な面からも小中学校から近く、利便性が高いため普段のクラブ活動に影響がある。 ・小学生から高校生まで、子どもを対象とした大会が多く開催されているが別会場での開催となる。（日程、予約調整要） ・スポ少や地域クラブの利用料金は減免となっているが、観光施設系グラウンドの利用時には料金負担が発生する。	

各指標における評価（人工芝グラウンド）

評価項目		ふれあい広場（9,775㎡）	古川ラグビー場（12,146㎡）	流葉交流広場（10,106㎡）	杉崎公園グラウンド（10,160㎡）
定量指標	市負担額（人工芝更新整備費）	6	3	6	6
	利用者数	7	1	6	9
	グラウンド稼働日数	3	2	3	8
	小計	16	6	15	23
	優先度	B+	C	B	A
定性指標	市民生活				
	地域経済				
	その他				

評価項目		ふれあい広場	古川ラグビー場	流葉交流広場	杉崎公園グラウンド
定量指標	市負担額（人工芝更新整備費）	B+	C+	B+	B+
	利用者数	A－	C－	B+	A+
	グラウンド稼働日数	C+	C	C+	A
定性指標	市民生活				
	地域経済				
	その他				

評価と配点	
評価	点数
A+	9点
A	8点
A－	7点
B+	6点
B	5点
B－	4点
C+	3点
C	2点
C－	1点

★定量指標項目別判断基準（人工芝）

評価項目	C－	C	C+	B－	B	B+	A－	A	A+	適用数値
市負担額（人工芝更新整備費）	－	－	3億以上	2億8千万～3億	2億6千万～2億8千万	2億4千万～2億6千万	2億2千万～2億4千万	－	－	人工芝張替え整備に要する事業費をグラウンド面積により㎡単価を一律に乗じて設定。 人工芝工：11,500円/㎡ 路盤不陸整正工：300円/㎡　※アスファルト舗装工含まず。 既存人工芝撤去処分：2,600円/㎡　その他諸経費、消費税を加算。
延べ利用者数	3千~4千人	4千~5千人	5千~6千人	6千~7千人	7千~8千人	8千~9千人	9千~1万人	1万~1万1千人	1万1千人~	第４回検討部会資料No3　令和７年度実績より。
グラウンド稼働日数	~20日	20~50日	50~80日	80~110日	110~140日	140~170日	170~200日	200~230日	230日~	前ページR７人工芝稼働日数より。

★人工芝の更新整備事業費　※業者見積による㎡単価により算出　（単位：円）

整備項目	施工単価（円/㎡）	ふれあい広場	古川ラグビー場	流葉交流広場	杉崎公園グラウンド
施工面積（㎡）		9,775	12,146	10,106	10,160
人工芝敷設工	11,500	112,412,500	139,679,000	116,219,000	116,840,000
不陸整正工	300	2,932,500	3,643,800	3,031,800	3,048,000
既設人工芝撤去処分工	2,600	25,415,000	31,579,600	26,275,600	26,416,000
直接工事費	14,400	140,760,000	174,902,400	145,526,400	146,304,000
共通仮設費（8%）		11,260,800	13,992,192	11,642,112	11,704,320
現場管理費（27%）		41,045,616	51,001,540	42,435,498	42,662,246
一般管理費（14%）		27,029,298	33,585,458	27,944,561	28,093,879
小計		220,095,714	273,481,590	227,548,572	228,764,446
消費税		22,009,571	27,348,159	22,754,857	22,876,445
合計		242,105,286	300,829,749	250,303,429	251,640,890

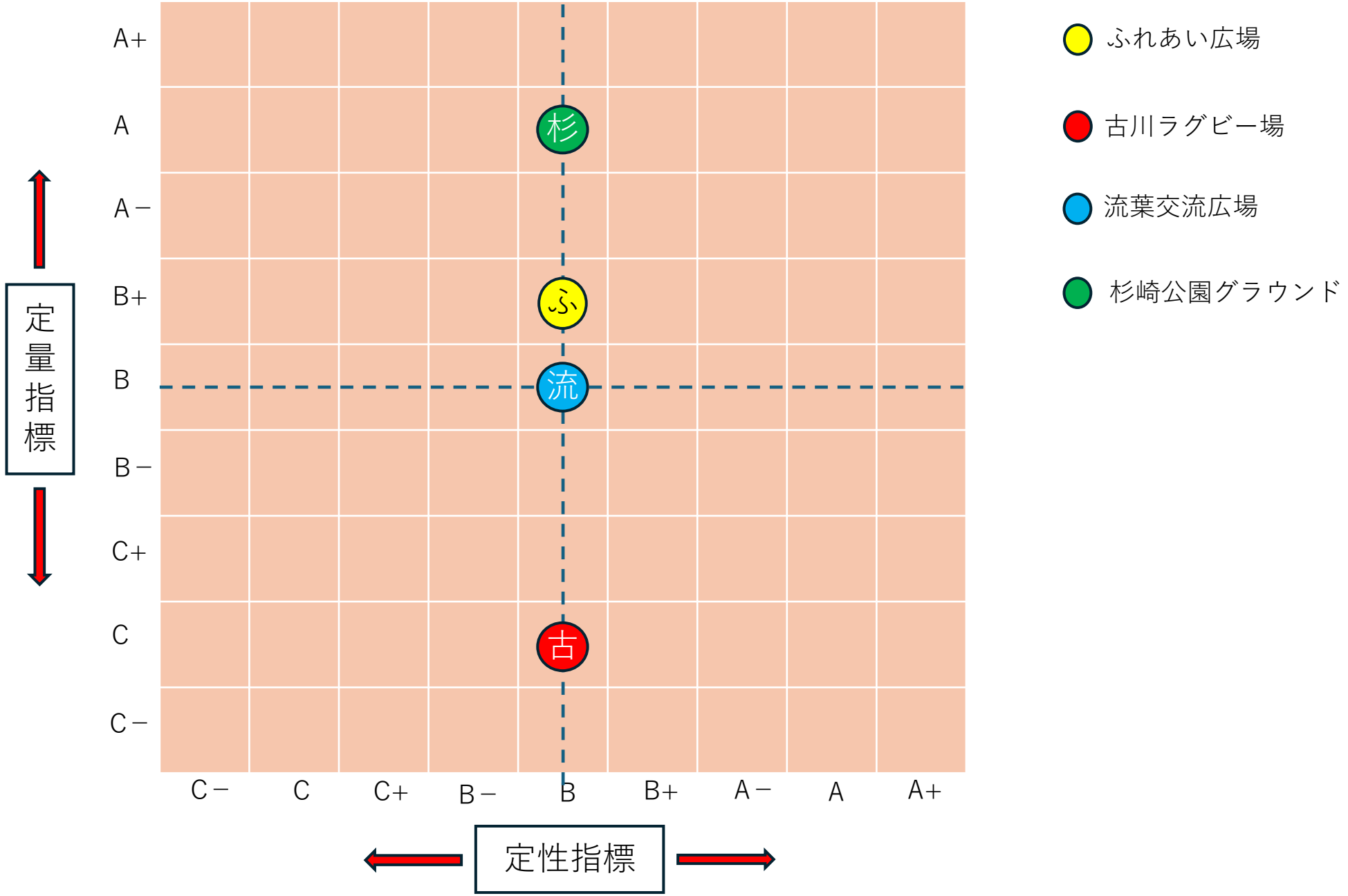
★定量指標における優先度判断基準

優先度	C－	C	C+	B－	B	B+	A－	A	A+
	1点～3点	4点～6点	7点～9点	10点～12点	13点～15点	16点～18点	19点～21点	22点～24点	25点～27点

人工芝グラウンド

優先順位配置図

資料No 6

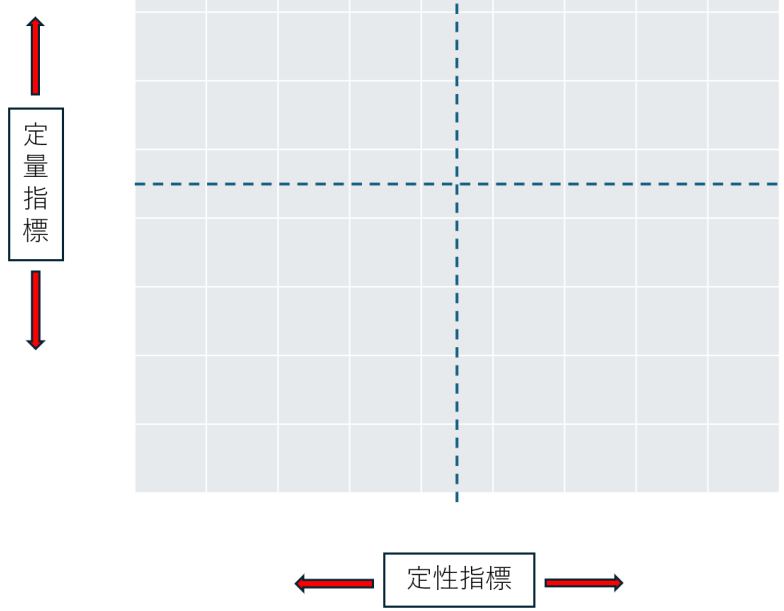


検討施設の優先順位の考え方（スキー場）

共通事項：公の施設の定義（地方自治法）である
「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供される施設」であるか

1．定量指標
　①市負担額（ランニングコスト）の優位性
　②当初整備事業費の多寡
　③利用者数、利用頻度
2．定性指標
　①市民生活における必需度
　②地域経済への影響
　③その他

優先順位配置図



★定性指標における検討のポイント（スキー場）

No.	施設名	検討の個別ポイント	施設廃止した場合の影響	共通ポイント
1	飛騨かわいスキー場 【施設全体概要】 ・ペアリフト3基、シングルリフト１基 ・圧雪車２台、センターハウス１棟 ・大人1日券（休日）3,900円	・施設の効率的な運用を目的としてR8シーズンより第２リフト（シングル）第５リフト（ペア）を運休。メインリフトとなる第３、第４リフトのみ運営。（第１、第３、第４ゲレンデ） ・R３シーズンより観光施設からスポーツ施設（市民スキー場）として運営。市民利用割合が高い（85%） ・小学校（古西、河合、宮川）のスキー教室で利用されている。 ・指定管理者の自主事業として旧ロッジを運営（NOASOBIキャンプ）しており、グリーンシーズンもキャンプ場やイベント会場として利用 されている。 ・少数と思われるが近隣の市宿泊施設（やまびこ館、ホテル季古里など）のスキー客宿泊利用がある。 ・市スポーツ少年団（飛騨スキージュニア）の練習場所となっている。	・スポーツ少年団や学校スキー教室の活動場所変更が必要となる。 ・自主事業運営されているNOASOBIの冬季営業に影響が出る。 ・一部コアなファンから存続希望の声がある。 ・冬季の市道除雪が不要となる。	・収益は気候（積雪）により大きく左右され、近年、年末年始に営業できないシーズンが多い傾向にある。 ・リフトと圧雪車の整備、メンテナンスに多額の費用を要する。 ・全国的にスキー場リフト券が値上げ傾向にあり、近隣スキー場の状況なども勘案して、両スキー場ともに料金値上げを行っている。 ・令和２年度からコロナ交付金、ふるさと納税を原資として、市内小・中・高児童、生徒を対象としたリフト無料化事業を行っており、両スキー場の指定管理者へ児童、生徒利用分のリフト料金を補填している。 ・廃止後のリフト撤去などに高額な費用を要する。 【参考】 高山市スキー場の令和６年度入込客数 ・モンデウス飛騨位山スキー場：29,634人 （クワッド１基、ペア１基）※大人1日券（休日）4,500円 市民割：3,600円 ・ほうのき平スキー場：100,597人 （クワッド１基、ペア３基）※大人1日券（休日）4,900円 ・乗鞍高原飛騨高山スキー場：8,346人 （ペア１基）※大人1日券（休日）1,880円
2	ひだ流葉スキー場 【施設全体概要】 ・クワッドリフト1基、ペアリフト5基 ・圧雪車3台、人工降雪機３台 ・大人1日券（休日）4,700円	・スキー場下部に５コースのほか、山頂（国設）エリアにも複数のコースがあり山頂レストランがある。 ・Mプラザ、キャンプ場コテージはセンターロッジや宿泊施設として一体運用されている。 ・スキー場内に民間経営ロッジ、食堂、宿泊施設あり。 ・グリーンシーズンはトレッキングや健康ウオーキング、ドローンパーク、バギー体験などのアクティビティで利用。 ・市民利用（20%）もあるが８割は市外からの利用者。 ・小学校（神岡、山之村）のスキー教室で利用されている。 ・スキー合宿や修学旅行に利用されており、流葉地域の宿泊施設の利用が多くある。 ・西日本エリアの「推したい穴場スキー場No1」、奥美濃・北陸エリアの「コースが面白いスキー場No1」に選ばれるなど知名度が高いスキー場となっている。 ・施設単体としては設備等の修繕・投資など最も多額な費用を要しているが、売上収入が最も高い施設となっている。	・スポーツ少年団や学校スキー教室の活動場所変更が必要となる。 ・コンベンションも含め流葉地域の冬季宿泊利用など、流葉周辺地域全体の経済活動に大きな影響が出る。 ・一体運用されているMプラザ、キャンプ場へのスキー客入込がなくなる。	

各指標における評価（スキー場）

評価項目		飛騨かわいスキー場	ひだ流葉スキー場
定量指標	市負担額	8	2
	当初施設整備費	9	1
	利用者数	1	8
	小計	18	11
	優先度	B+	B－
定性指標	市民生活		
	地域経済		
	その他		

評価項目		飛騨かわいスキー場	ひだ流葉スキー場
定量指標	市負担額	A	C
	当初施設整備費	A+	C－
	利用者数	C－	A
定性指標	市民生活		
	地域経済		
	その他		

評価と配点	
評価	点数
A+	9点
A	8点
A－	7点
B+	6点
B	5点
B－	4点
C+	3点
C	2点
C－	1点

★定量指標項目別判断基準（スキー場）

評価項目	C－	C	C+	B－	B	B+	A－	A	A+	適用数値
市負担額（コスト）	7,500万円～8,000万円	7,000万円～7,500万円	6,500万円～7,000万円	6,000万円～6,500万円	5,500万円～6,000万円	5,000万円～5,500万円	4,500万円～5,000万円	4,000万円～4,500万円	3,500万円～4,000万円	第１回部会資料No５　２０施設近年の運営状況（総括）「コスト・市負担額」の単年度平均負担額
当初整備費	33億～35億円	31億～33億円	29億～31億円	27億～29億円	25億～27億円	23億～25億円	21億～23億円	19億～21億円	17億～19億円	下記スキー場の当初整備事業費より
利用者数	10,000～13,000人	13,000～16,000人	16,000～19,000人	19,000～22,000人	22,000～25,000人	25,000～28,000人	28,000～31,000人	31,000～34,000人	34,000～37,000人	気候により利用者数が大きく変動するため、令和2年度から令和7年度6年間の平均数値を採用。（第１回部会資料No5　第２回部会資料No２）

★スキー場の当初整備事業費　※現在取得価額に換算（国交省建設工事デフレーター）単位：千円

種別	施設名	建物	工作物	物品	計	取得年度
		取得価額	取得価額	取得価額	取得価額	
スキー場	⑮飛騨かわいスキー場	361,514	1,467,254	65,730	1,894,498	S57～R5
	⑯ひだ流葉スキー場	615,919	2,410,570	286,343	3,312,832	S43～R3

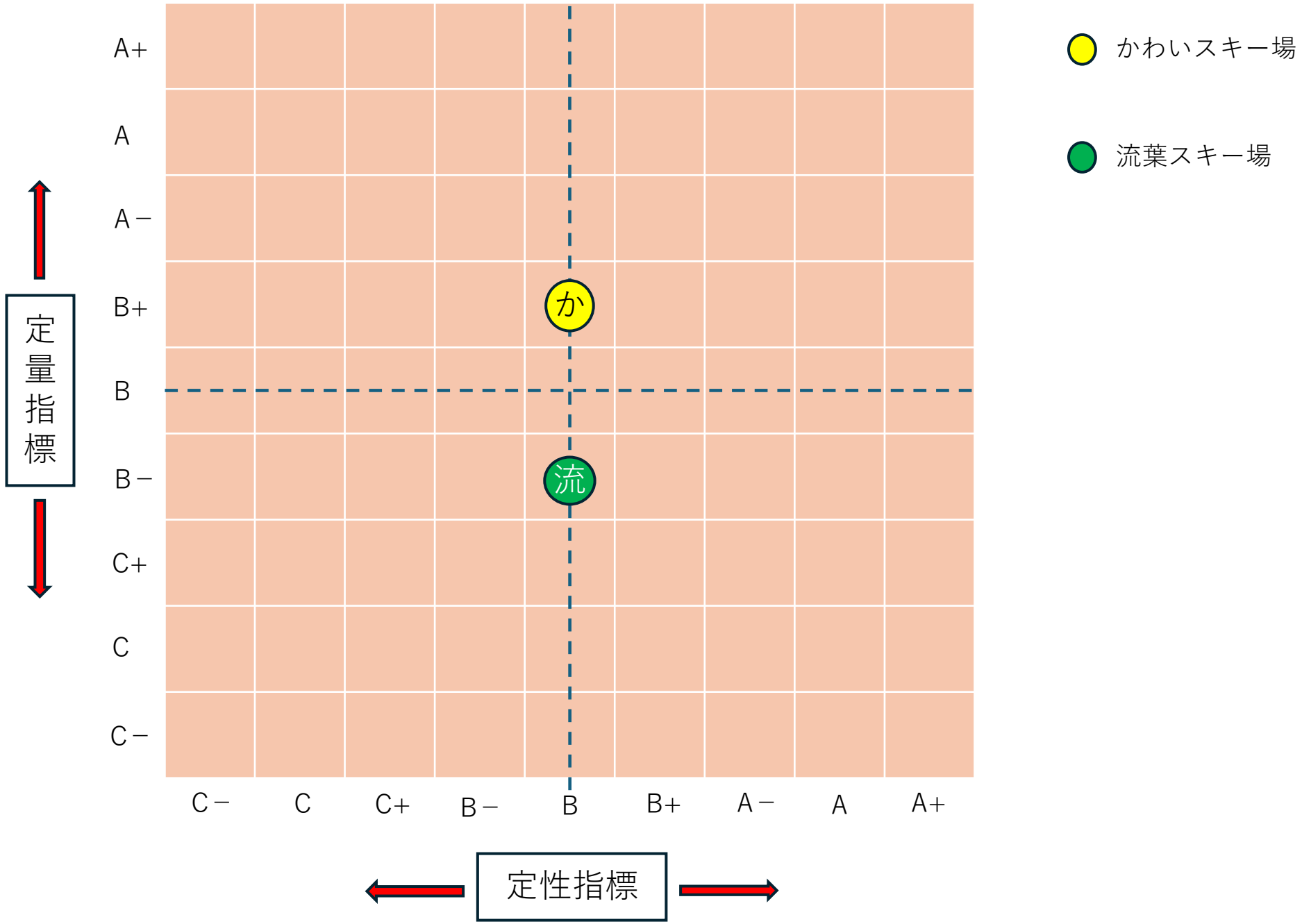
★定量指標における優先度判断基準

優先度	C－	C	C+	B－	B	B+	A－	A	A+
	1点～3点	4点～6点	7点～9点	10点～12点	13点～15点	16点～18点	19点～21点	22点～24点	25点～27点

スキー場

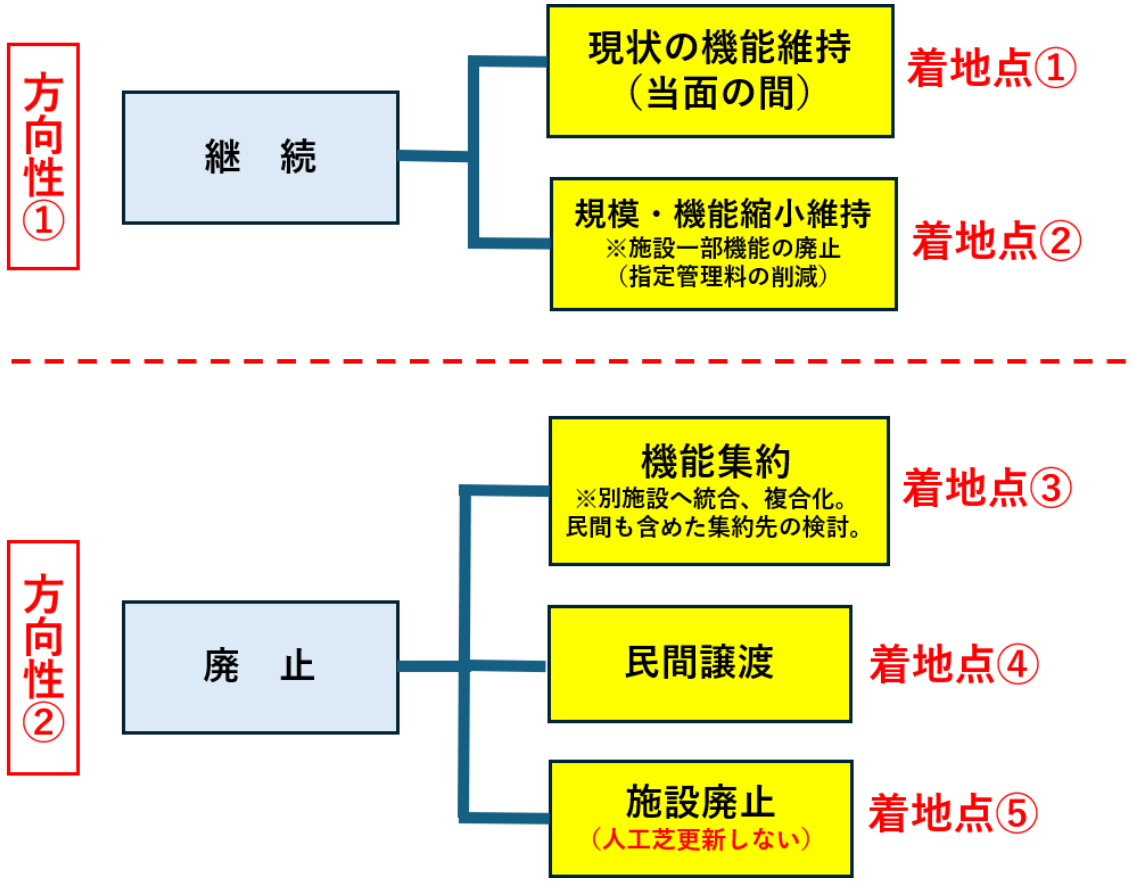
優先順位配置図

資料No８



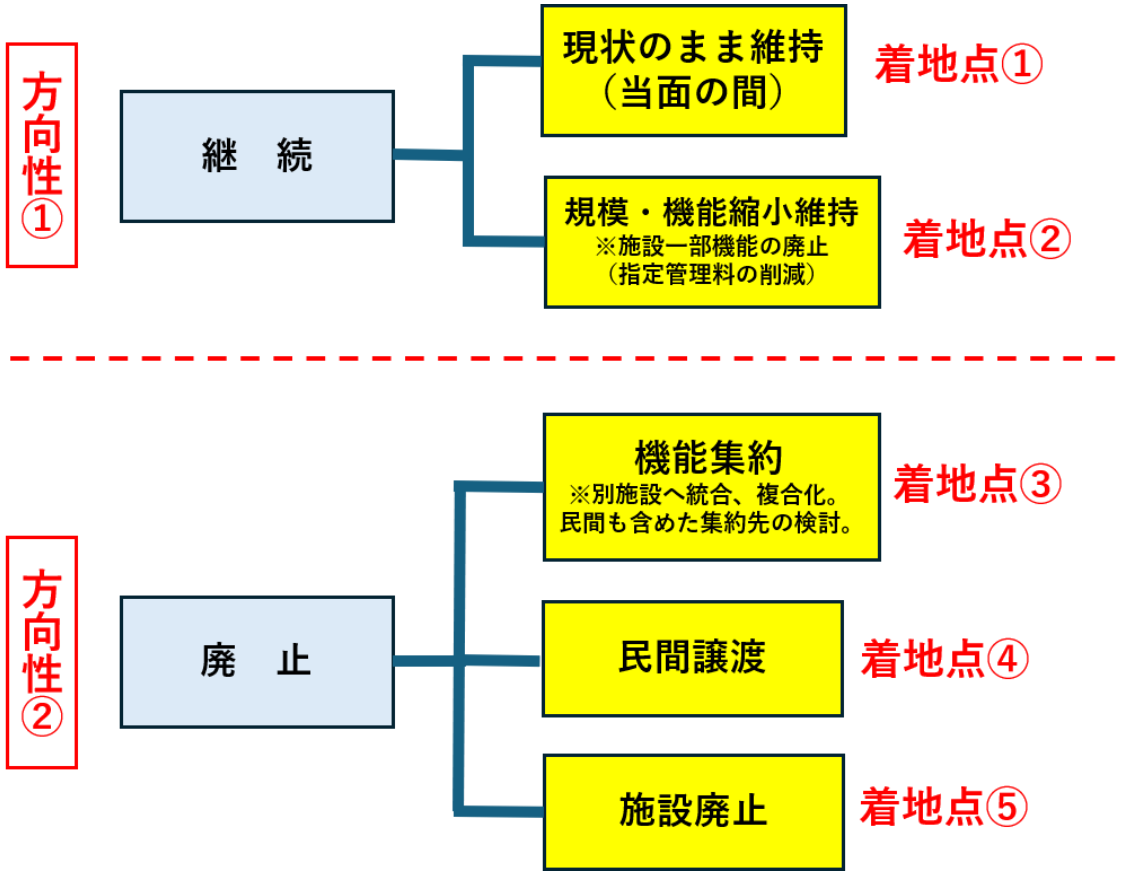
人工芝グラウンドの方向性と着地点

施設名	方向性	着地点
ふれあい広場		
古川ラグビー場		
流葉交流広場		
杉崎公園 グラウンド		



スキー場の方向性と着地点

施設名	方向性	着地点
飛騨かわいスキー場		
ひだ流葉スキー場		



○令和８年度公共施設在り方検討部会スケジュール（案）　資料No１０

１０月	・10/26　第５回公共施設在り方検討部会（全種方向性・優先順位議論）
１１月	・11/中旬　第３回庁内会議
	・11/16　第６回公共施設在り方検討部会（方向性・順位まとめ）
１２月	・12/７　第７回公共施設在り方検討部会（検討部会における結論まとめ）
	・12/21　総合政策審議会、市長へ報告
１月	検討部会まとめを受けての市方針決定・公共施設各計画改訂
２月	・2/19　議会全員協議会へ報告
３月	検討部会提言、改訂計画の公表

※スケジュールの進捗、状況などについて随時執行部協議を実施